

# 新興国中小型株ファンド

## 追加型投信／海外／株式

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「新興国中小型株ファンド」は、2019年4月15日に第8期の決算を行いました。

当ファンドは、今後の成長が期待できる新興国の中小型株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目的として、積極的な運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年4月14日～2019年4月15日

第8期	決算日：2019年4月15日	
第8期末 (2019年4月15日)	基準価額	9,826円
	純資産総額	1,269百万円
第8期	騰落率	△10.6%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。  
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

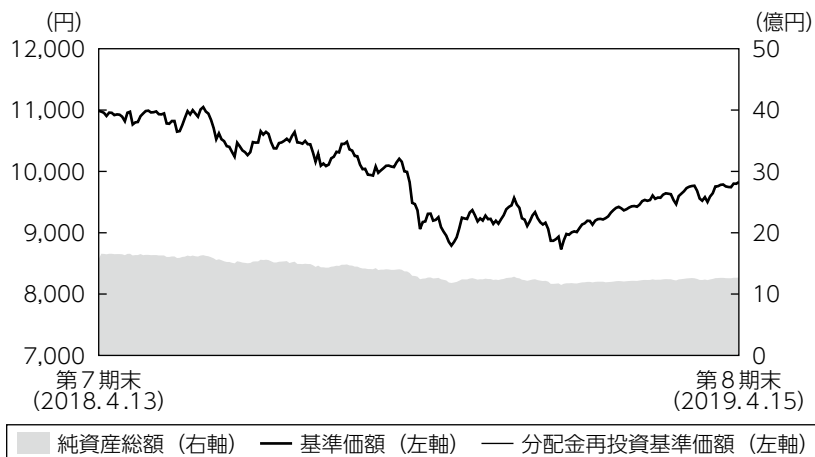
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第8期首：10,987円  
 第8期末：9,826円  
 (既払分配金0円)  
 騰落率：△10.6%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

新大統領への期待が高まったブラジル株式市場や、世界的に情報技術セクターが好調だったことから、恩恵を受けると見られた台湾株式市場が上昇したことはプラスに寄与したものの、経済の成長ペースが鈍化するとの見方が強まった中国株式市場が下落したことや、世界的な貿易摩擦への懸念が高まり、悪影響が一定程度出ると見られたアジア諸国の株式市場が軟調に推移したことなどがマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

## 1万口当たりの費用明細

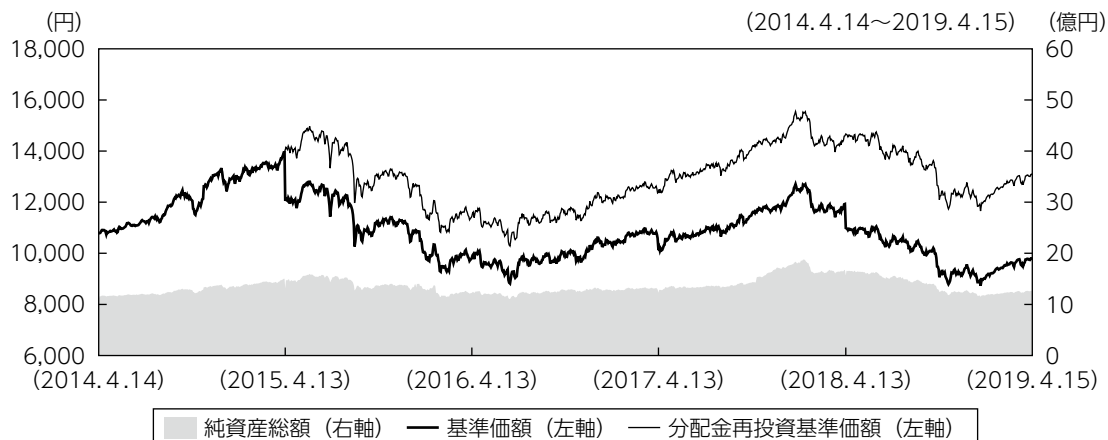
項目	第8期		項目の概要
	(2018年4月14日 ～2019年4月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	205円	2.063%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,913円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(100)	(1.010)	
(販売会社)	(100)	(1.010)	
(受託銀行)	( 4)	(0.043)	
(b) 売買委託手数料	27	0.269	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 26)	(0.263)	
(新株予約権証券)	( 0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.001)	
(投資証券)	( 0)	(0.005)	
(c) 有価証券取引税	23	0.232	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 23)	(0.230)	
(新株予約権証券)	( 0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.001)	
(投資証券)	( 0)	(0.002)	
(d) その他費用	49	0.491	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	( 46)	(0.466)	
(監査費用)	( 0)	(0.004)	
(その他)	( 2)	(0.021)	
合計	303	3.056	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2014年4月14日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2014年4月14日 期首	2015年4月13日 決算日	2016年4月13日 決算日	2017年4月13日 決算日	2018年4月13日 決算日	2019年4月15日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	10,778	12,050	9,820	10,123	10,987	9,826
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	2,000	0	500	1,000	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	30.4	△18.5	8.2	18.4	△10.6
参考指数の騰落率	(%)	—	24.6	△23.5	13.4	20.8	△5.4
純資産総額	(百万円)	1,093	1,311	1,227	1,229	1,569	1,269

(注) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はMSCIエマージング・マーケット・中小型株インデックス (円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし) であり、算出にあたっては米ドルベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています (以下同じ)。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。

## 投資環境

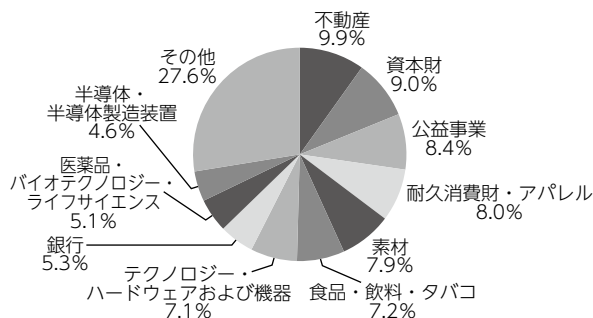
米中間の貿易摩擦への懸念が高まったことから、期初に良好だった景況感の見通しは徐々に後退しました。地域的にも、中国を起点にアジア・欧州へマイナスの影響が広がる可能性が懸念され、中国やアジア諸国の株式市場が下落しました。一方、金融政策に関しては、期末にはF R B（米連邦準備理事会）が当初の金融引き締めスタンスからハト派的スタンスに転換したことから、市場環境が好転しました。

為替市場では、期の前半は、金利上昇が見込まれたことから米ドルが強含む展開となり、新興国通貨も軟調に推移しましたが、期の後半は、米国の金利低下に伴い、米国から新興国に資金が還流する展開となり、新興国通貨は買い戻されました。

## ポートフォリオについて

貿易摩擦への懸念が特に高まった2018年秋口から年末にかけては、リスク回避的な動きが強かったことから「低ボラティリティ運用戦略」の効果はプラスに寄与しましたが、その前後では、リスク選好姿勢が強まり、同戦略の効果はマイナスに寄与しました。一方、「マルチファクターモデル」では、割安な銘柄の選択を行ったことは資本財セクター等を中心にマイナスに寄与し、成長性の高い銘柄を組入れたことは情報技術セクター等を中心にプラスに寄与しました。

### ○業種別配分比率



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

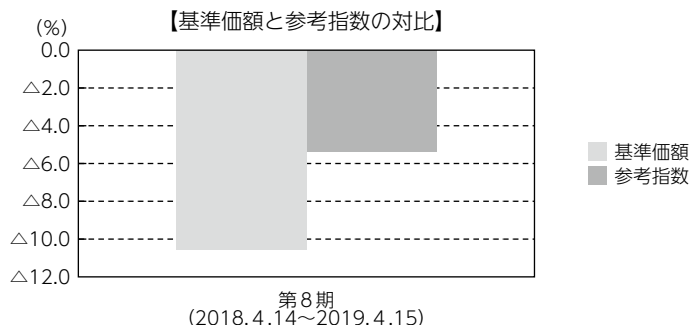
(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注3) 業種別配分については上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注4) 業種は決算日時点でのG I C S（世界産業分類基準）によるものです。

## 参考指数との差異

当ファンドはベンチマークを定めておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数であるMSCIエマージング・マーケット・中小型株インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2018年4月14日 ～2019年4月15日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	946円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

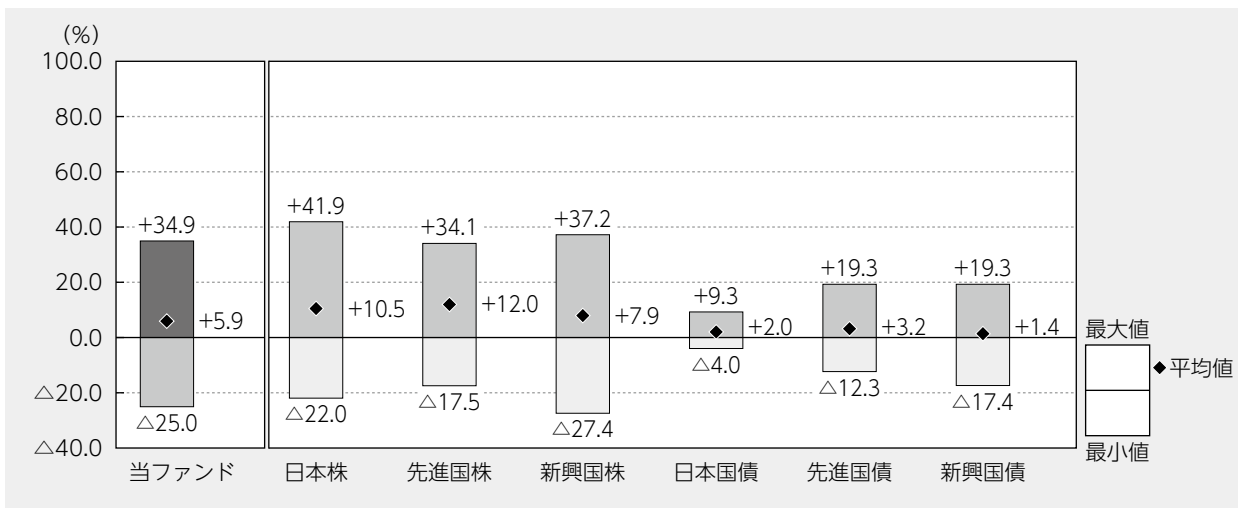
2018年は、米国の貿易政策に振り回された感がありますが、今後の新興国経済は、インフレ・経常収支とも安定する中、通貨も底堅く推移するものと見ており、業績拡大の恩恵を得やすい環境に戻るものと見ています。「低ボラティリティ運用戦略」を活用し、引き続き投資効率を高める戦略をとることに加え、「マルチファクターモデル」を活用し、成長性が高く、比較的割安な銘柄に投資を行う方針を継続します。

**当ファンドの概要**

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2011年7月22日から2021年4月13日までです。
運用方針	信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
主要投資対象	新興国の中小型株式を主要投資対象とします。
運用方法	今後の成長が期待できる新興国の中小型株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目的として、積極的な運用を行います。 株式の組入比率は、原則として高位を維持します。 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。
分配方針	決算日（原則として4月13日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年4月～2019年3月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2019年4月15日現在）

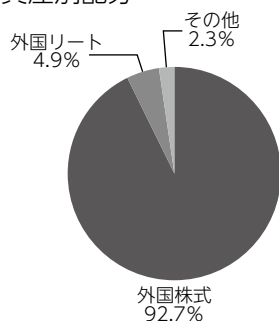
#### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
ESCORTS LTD	インド・ルピー	2.0%
SIMPLO TECHNOLOGY CO LTD	台湾・ドル	1.9
XTEP INTERNATIONAL HOLDINGS	香港・ドル	1.8
NOVATEK MICROELECTRONICS LTD	台湾・ドル	1.7
CHINA CONCH VENTURE HOLDINGS LTD	香港・ドル	1.7
INTERNATIONAL CSRC INVESTMENT HOLDINGS CO	台湾・ドル	1.6
YUEXIU REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	香港・ドル	1.3
AVI LTD	南アフリカ・ランド	1.3
EDP - ENERGIAS DO BRASIL SA	ブラジル・レアル	1.2
SAMJIN PHARMACEUTICAL CO LTD	韓国・ウォン	1.2
組入銘柄数	188銘柄	

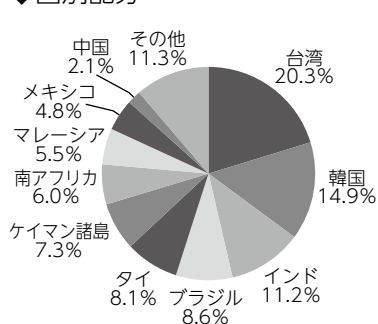
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

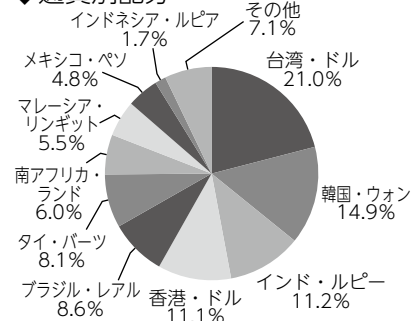
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注3) 国別配分、通貨別配分については上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注4) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。

### 純資産等

項目	当期末
	2019年4月15日
純資産総額	1,269,274,954円
受益権総口数	1,291,743,928口
1万口当たり基準価額	9,826円

(注) 当期中における追加設定元本額は275,105,460円、同解約元本額は411,790,133円です。

## <当ファンドの参考指数について>

### ●MSCIエマージング・マーケット・中小型株インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）

MSCIエマージング・マーケット・中小型株インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

